

災害時要援護者とともに参加する 防災タウンウォッチングと防災マップづくりプログラム開催要項

1 目的 防災マップづくりは、災害時の危険個所と防災資源、災害時の行動のマップを作成するプログラムです。これまでの防災マップの多くは、専門家によって作成されたハザードマップや行政が指定した避難所のマップなどでした。その地域だからこそ知り得る情報も災害時には大いに役に立ちます。そこで、地域住民によるタウンウォッチング（まち歩き）を行い、地域の危険や資源に関する情報を集め、「e コミマップ」に登録します。e コミマップを通じて、タウンウォッチングを通して得られた情報に、国や自治体、研究機関等から提供されているハザードマップを参照し、重ねて表示することができます。これら、専門知、経験知、地域知を統合したマップをもとに、災害時の行動をマップに落とし込み、「防災マップ」が完成します。

今回は、災害時要援護者と呼ばれる人たちや地域の福祉施設・福祉事業所なども一緒に参加することを通して、平時と災害時の支援の仕組みがシームレスになること、また、災害時における支援継続計画（BCP）を協働でたてたり、横のネットワークを生かすための個人情報共有の意思確認をする仕組みづくりをめざします。名古屋市の進める「助け合いの仕組みづくり」のモデルとなるべく、都市部における地域防災力向上の社会システムを展望します。

e コミマップについて http://bosai-drip.jp/ecom-plat/e_com2.htm

e コミマップ(表示画面)



分散している地理空間情報に対し、地域住民側が、情報を動的に引き出し、その上で情報を追加することが可能なWebマッピングシステム

地理空間情報はWMS,WFS,WCS,WPS等の国際標準に準拠

- 専門機関等の地理空間情報(GISデータ)
- 他の分散相互運用環境へのデータの提供が可能

2 日 時

第1回 3月6日(土) 13:30~

第2回 3月27日(土) 14:00~

第1回と第2回の間、ご希望の地域、ご希望の日時において、
防災タウンウォッチングを実施して頂きます。

3 場 所 わだちコンピュータハウス3F 食堂

4 参加費 無料

5 参加人員 40名(予定)

6 参加対象 地域住民、障害当事者、障害者当事者団体、自治体消防・防災・福祉・保健
関係者、社協関係者、災害ボランティア、福祉サービス事業者等

7 内 容

第1回 3月6日(土)

時 間	内 容	備 考
13:30~13:35	主催者挨拶・趣旨説明	AJU自立の家専務理事 山田昭義
13:35~14:05	オリエンテーション グループ・エリア分け チェック項目検討作業	わだちコンピュータハウス 昭和消防署
14:05~(解散)	防災タウンウォッチング 災害時要援護者と共に避難経路 を歩きながら危険箇所等をチェ ックし、紙地図に記録していく	グループに分かれて 都合のつく日時に実施してよいものと する

第2回 3月27日(土)

14:00~14:15	オリエンテーション eコミマップの操作方法について	
14:15~15:45	タウンウォッチングの結果を eコミマップに登録・共有化	グループに分かれて、パソコンで入力
15:45~16:00	休憩	
16:00~16:50	各グループの成果発表、まとめ	
16:55~17:00	閉会挨拶	わだちコンピュータハウス所長 水谷 真

8 主 催 社会福祉法人AJU自立の家

共 催 昭和区社会福祉協議会

後 援 愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会(予定)

訓練協力 昭和消防署

問い合わせ 社会福祉法人AJU自立の家

わだちコンピュータハウス 防災企画グループ 湯浅・須藤・菅沼

TEL 052-841-9888 FAX 052-841-3788 bousai@aju-cil.com